

art trip vol.03

in number,
new world

四海の数

2019年12月7日(土)
—2020年2月9日(日)

開館時間=10:00-17:00(入館は16:30まで) / 休館日=月曜日(ただし1/13は開館、1/14は休館)、年末年始(12/28-1/4) / 観覧料=一般700(560)円、大高生500(400)円、中学生以下無料 ※同時開催「昔のくらし」展の観覧料も含む ※()内は20名以上の団体料金 ※高齢者(65歳以上)および身体障がい者手帳・精神障がい者保健福祉手帳・療育手帳をお持ちの方ならびにその介護者の方は各当日料金の半額になります。 ※観覧無料の日=12月25日(水)、2020年1月13日(月・祝)

主催=芦屋市立美術博物館

後援=兵庫県、兵庫県教育委員会、公益財団法人兵庫県芸術文化協会、神戸新聞社、NHK神戸放送局、Kiss FM KOBE

協力=ARTCOURT Gallery、OTA FINE ARTS、TARO NASU、Yumiko Chiba Associates

四

海

かずのしじまに、みみすます。

の

今井祝雄 久門剛史 津田道子 中村裕太



 芦屋市立美術博物館
Ashiya City Museum of Art & History

〒659-0052 兵庫県芦屋市伊勢町12-25
TEL 0797-38-5432 ashiya-museum.jp

上/久門剛史《crossfades》(部分) 2013年—紙、アルミニウム、ルーペ、真鍮、ムーブメント、他 Photo:Artist *参考画像 下/津田道子《あなたは、翌日私に会いにそこに戻ってくるでしょう。》2016年 Photo:Tadasu Yamamoto

数



1



2



3



4

- 1
中村裕太
《日本陶片地図 | 埼玉県川越市久下戸》
2016年
Photo: Nobutada Omote *参考画像
- 2
津田道子
《あなたは、翌日私に会いにそこに戻ってくるでしょう。》2016年
Photo: Tadasu Yamamoto
- 3
久門剛史
《Pause》2016年
サウンド、スポットライト、電球、木材、
アクリル、鏡、アルミ、ジョーゼット、
ムーブメント、他
Photo: Tetsuo Ito *参考画像
- 4
今井祝雄
《10時5分》1972年
ブラウン管にスクリーンプリント
Photo: Nobutada Omote
Courtesy of ARTCOURT Gallery

art trip vol.03

in number, new world

かつて、多くの哲学者は「数とは何か」と議論を交わしました。時間や距離、人口、気温、貨幣、年齢、身長、体重、心拍数など、世界を構成する事象は数字で表されており、私たちは数に囲まれて生きています。

具体美術協会が活動後、70年代より写真や映像といったメディアを素材として「時間」について思考させる作品も生み出している今井祝雄、空間の特性を読み、音や光、影といった非物質的な現象を用いたインスタレーション作品を展開する久門剛史、映像の特性にもとづき空間演出とパフォーマンスとの共同作業により制作を行なう津田道子、その土地の史実や文化の在りようを集め、自身の手により思索した造形物を通して、目に見えないつながりを解きほぐし顕在化する中村裕太。

豊かに生きるために確かめながら暮らす日々の中、数は物事を考える上で中心的な役割をはたしています。しかし、相互認識のために共通言語として使用される数字は、価値基準が一致しなければ言語として成立しづらい繊細な性質も持っています。一方、数字に主導権を握られ、したたかな性格を持つものとして接する機会も少なくありません。常に寄り添う数字とどのように生きていくのか。

本展では、今井祝雄、久門剛史、津田道子、中村裕太の作品とともに芦屋市立美術博物館の所蔵作品を通して、「数」について意識を深めていきます。

[関連イベント]

◆オープニングイベント

アーティストによるギャラリートーク

2019年12月7日(土) 15:00-17:00

講師=今井祝雄、久門剛史、津田道子、中村裕太(本展出品作家)/会場=展示室/参加費=無料(ただし要観覧券)

◆トークI

12月14日(土) 14:00-15:30

講師=久門剛史(美術家)、林寿美(インディペンデントキュレーター)/会場=講義室/定員=80名
参加費=無料(ただし要観覧券)

◆トークII

12月21日(土) 14:00-16:00

講師=今井祝雄(美術家)、浅沼敬子(北海道大学大学院准教授・芸術学)/会場=講義室/定員=80名
参加費=無料(ただし要観覧券)

※ツアートーク以外は申込不要。直接会場へお越しください。※詳しくは当館HPをご覧ください。ashiya-museum.jp

◆トークIII

2020年1月13日(月・祝) 14:00-16:00

出演=津田道子(美術家)/会場=講義室
定員=80名/参加費=無料

◆ツアートーク

「長谷川三郎の軌跡を追って」

1月25日(土) 13:00-16:00(予定)

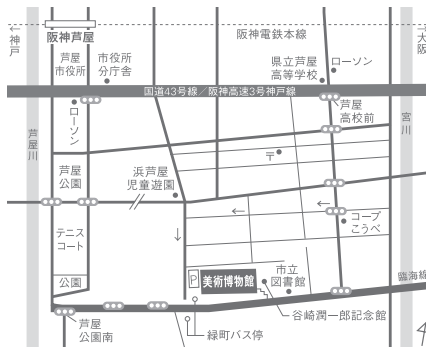
講師=中村裕太(美術家)、服部正(甲南大学教授)
会場=芦屋市立美術博物館、甲南学園長谷川三郎記念ギャラリー
定員=20名/参加費=無料(ただし要観覧券)、要交通費
※要事前申込/1月10日(金)締切/応募者多数の場合は抽選

◆担当学芸員によるギャラリートーク

1月12日(日)、2月2日(日) 両日とも14:00-16:00程度
参加費=無料(ただし要観覧券)

[アクセス]

徒歩=阪神電車芦屋駅から南東へ約15分
阪急バス=「新浜町」または「芦屋市総合公園前」行き
(31・32・35・36・131系統)乗車、
「緑町(美術博物館前)」停留所下車
バスのりば=①阪神芦屋駅—南側2番のりば
②JR芦屋駅—北側5番のりば
③阪急芦屋川駅—南側5番のりば
※併設駐車場=当館をご利用の方は1時間無料
30分100円(8:00-20:00)
60分100円(20:00-8:00)



芦屋市立美術博物館
Ashiya City Museum of Art & History

〒659-0052 兵庫県芦屋市伊勢町12-25
TEL 0797-38-5432 ashiya-museum.jp

[これからの展覧会]

「第37回 芦屋市造形教育展」
2020年2月15日(土)~2月24日(月・振休)
美術と音楽の8日間「rooms」
2020年3月14日(土)~3月22日(日)